



所内 第16回写真コンクール入選作 「へんな岬」 燃料部 鈴木泰輔

へんな岬

宮古島は琉球列島のうちでも八重山群島に次いで南に位置し、沖縄本島と台湾のほぼ中間の洋上に常緑の島として浮かんでいる。

写真は宮古島の東南端、東平安名岬の遠望である。岬の長さ2,500m、幅員30~100m、細長い形で太平洋に突出し、一年中黒潮は洗われている。平坦な地形は隆起石灰岩の段丘面にあたる。この石灰岩中には多くの珊瑚、貝などの化石が含まれ、磨くと美しい模様を浮きだすことから「トラパーチン」と称され、装飾用石材に利用されている。

宮古島は同島の90%近くが石灰岩の分布によって占められるが、下位には新第三系の地層が伏在している。全体的な地形は、大よそ東海岸が標高50~100mの絶壁、西の方へ序々に高さが減ってゆき、その間断層の存在で多少の高低は繰り返されているが、ほとんど平らな感じであって、ちょうど屋根の底のような形となっている。中山世譜琉球興地名号会紀(1706年)という古文書には、この島を「庇郎喇」と呼んでいたことが書かれている。人々の受ける印象は今も昔も変わらない。

地質調査所研究発表会(一般公開)

- 日時 45. 11. 17(火) 13時30分から
場所 溝ノ口庁舎 4階会議室 川崎市久本135 番(044)86-3171
- 1) 現世水盆におけるウラン堆積地球化学的問題
地質部 ●水野 篤行 技術部 望月 常一
 - 2) 沖縄中部ガス田の堆積地球化学と地質構造
技術部 ●本島 公司 比留川 貴
 - 3) 土畑鉱山周辺地域の土壌および岩石中の微量元素と鉱床との関連性
技術部 東野 徳夫
 - 4) 地向斜玄武岩—その化学組成について
地質部 服部 仁
 - 5) 地球化学的標準試料JG-1, JB-1の化学成分
技術部 ●安藤 厚 倉沢 一 大森 貞子
竹田 栄蔵

(注:……印は講演者)

一般の方々の聴講をお待ちしております

地質 ニュース	第195号	11月号
	定価 ¥250	千12
昭和45年11月25日	発行	
編集	工業技術院	地質調査所
発行人	林 久	雄
発行所	株式会社	実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (261) 7173・9387	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	政府刊行物	販売所
	東京都千代田区大手町1の8	
	Tel. (211) 5470	
印刷所	共同印刷株式	会社